

子ども向け本棚「コドモライブラリィ」ができました！



図書コーナーに子ども向けの本棚「コドモライブラリィ」を設置しました。

戦争や平和をテーマとした絵本やマンガ、小説を始め、戦争を体験された方が子どもたちに伝えたい戦争の記憶を集めた本などを取り揃えております。

ぜひお立ち寄りください。

※図書コーナーの本は、展示室内で自由に読んでいただけます。展示室外への持ち出しやコピーなどはできませんのでご了承ください。

★本の一部をご紹介します！

『ぞうれっしゃがやってきた』

作：小出隆司 絵：箕田源次郎 発行：東京書籍

戦争中、日本の動物園では動物が次々に殺されました。飼育員たちはなんとか動物を死なせないようがんばります。名古屋の東山動物園で、昔、実際にあったできごとです。過去に読んだことがある方も、もう一度読んでみてはいかがでしょうか。

『焼けあとのちかい』

作：半藤一利 絵：塚本やすし 発行：大月書店

今年1月に亡くなった作家・半藤一利さんの少年時代の戦争体験が描かれた絵本。日本の戦争に向き合い、その過程を解明してきた作者が、その原点ともいえる東京大空襲と、焼け跡で誓ったことを描いた一冊。

『あとかたの街』

著：おざわゆき 発行：講談社

国民学校高等科1年生の主人公・あいの関心は、カッコいい車掌さんへの憧れや今日の献立のことなど。自分が戦争に参加しているなんて気持ちはこれっぽっちもなかった……。戦争末期の昭和19年の名古屋を生きた少女の物語。

『ぼくらの太平洋戦争』

作：宗田理 絵：はしもとしん 発行：KADOKAWA

夏休み、昔の兵器工場の跡地を見学に行った英治、ひとみたちは、不思議なことに1945年にタイムスリップ?! 少年時代を戦時下の愛知県で過ごした作者が、豊川海軍工廠（愛知県豊川市）の空襲を取り扱ったお話。